

JGAP認証取得を目指します！！

前月号でM式水耕の新たなる挑戦を発表しましたが、今月号ではスタートラインに立った2つの取り組みを紹介します。

(その1) JGAPの取得に向けて

2006年12月のM式たよりで大分県でミツバを大規模に栽培されている育葉産業(代表:栗田洋蔵)さんがJGAP(日本版GAP)を取得された事は紹介済みです。GAPとは適正農業規範と訳されており、農産物生産の各段階で生産者が守るべき管理基準とその実践のことで、農産物の安全、環境への配慮、作業者の安全と福祉などの視点から適切な農場管理のあり方についてまとめたものとあります。

株エムが管理している立田農場で実際にJGAP認証を目指そうというものです。認証は単なる自己満足に過ぎないかも知れませんが、取得する事により自分達はその野菜に対する自信というか責任というのか、その客観的裏付けが得られればと考えての挑戦です。認証までは長い道のりですが、安心・安全な水耕野菜をより信頼される野菜にするために社員一丸となって挑戦します。この紆余曲折の一部始終を皆様の参考となるように折に触れ今後も紹介していきたいと思えます。

なお、JGAPの詳細については日本GAP協会のホームページ(<http://jgai.jp/>)をご覧ください。

消費者の信頼を取り戻すため

生鮮農産物の安全性確保と安定供給を実現する
農業生産者の自主的グループ「JGAP生産者協会」を設立

Japan Good Agricultural Practice
日本GAP協会



(その2) 道楽の郷2号店開店

活菜(活きている野菜)を扱って頂いている愛知県弥富市のファーマーズマーケット「道楽の郷」さんが2号店を開店され、その中にも活菜コーナーを設けていただきました。東名阪自動車道蟹江インター直下にあるタイ料理&喫茶「ら・ばんだ」と同じ敷地内に2号店はあります。交通の便は非常に良く連日多くのお客様で賑わっております。また店内には弊社農場と同じセルフファーム(抜き取り直売)もあり、活菜生活のアンテナショップとして位置づけております。



おしらせ:

心苦しい事なのですが、ウレタンの再値上げという話がメーカーから届いております。実施時期および新価格については現在まだ交渉を行なっておりますが、近日中に値上げが行われる事は避けられない様子ですのであらかじめご了承下さい。ご理解の程、お願い申し上げます。